

## 鉄道事業の使用電力を 100%再生可能エネルギーへ ～ 山陽電車全線の CO<sub>2</sub> 排出量が実質ゼロとなります ～

山陽電気鉄道株式会社（本社：神戸市、以下「山陽電車」）は、持続可能な社会の実現に向けた環境負荷低減への取組みとして、4月1日（水）から、鉄道事業で使用する全ての電力を関西電力株式会社の「再エネE C Oプラン」に切り替え、実質的に再生可能エネルギー由来の電力（以下、「再エネ電力」）100%とすることで、山陽電車全線の営業についてはCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロといたします。

山陽電鉄グループでは、サステナビリティに関するマテリアリティ（重要課題）の一つに「環境に配慮した事業活動の推進」を掲げており、鉄道事業ではこれまでも、従来の車両に比べて1編成当たりの消費電力を約50%削減した6000系車両への置き換えのほか、駅の照明や信号機などをLED化することで使用電力量の削減をはかり、CO<sub>2</sub>排出量の削減を進めてきましたが、今回の取組みにより、グループ全体で排出するCO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減できる見通しです。

本取組みを通じて、環境優位性の高い移動手段である鉄道のさらなる利活用促進（モーダルシフト）を行うことで、脱炭素化社会実現への貢献を目指してまいります。

概要は次のとおりです。

### 1. 導入日

4月1日（水）

### 2. 導入範囲

山陽電車全線（本線：西代駅～山陽姫路駅間および網干線：飾磨駅～山陽網干駅間）の列車運行および全49駅



省エネルギー車両（6000系）



LED化が完了した駅照明（大塩駅）

### 3. 導入による環境効果（※）

今回導入する再エネ電力は、グループ全体の電力使用量の約 80%に相当し、年間で約 28,300t の CO<sub>2</sub> 排出量削減の効果が見込まれます（一般家庭約 11,000 世帯分）。

また、この取組みにより、政府目標である「2030 年度に 2013 年度比で CO<sub>2</sub> 排出量を 46% 削減」の達成が見込まれることから、グループ全体では鉄道以外の事業においてもさらなる CO<sub>2</sub> 排出量の削減を目指すとともに、将来のカーボンニュートラルの実現についても、検討を深度化してまいります。

※ 2024 年度の実績に基づく

### 4. その他

山陽電車が運営する須磨浦山上遊園（神戸市須磨区一ノ谷町 5 丁目 3 番 2 号）では、2022 年 5 月から須磨浦ロープウェイ・カーレーター・観光リフトの運行などで使用する電力について「再エネ E CO プラン」を導入し、実質的に再エネ電力 100%で営業しています。



山陽電鉄グループでは、SDGs の取組みを進めています。  
本件は、7 番・13 番・17 番につながる内容と考えています。

（参考）脱炭素社会実現に向けた鉄道の環境優位性の理解促進について  
一般社団法人日本民営鉄道協会と J R グループ各社では、日本のカーボンニュートラルの実現に向けて、相対的に低炭素な輸送モードである鉄道のさらなる利活用促進（モーダルシフト）をめざすとともに、鉄道の環境優位性に対する社会的な理解促進に取り組むため、共通ロゴマークとスローガンを定め、鉄道業界一丸で P R に取り組んでいます。

詳細ページ：<https://www.mintetsu.or.jp/association/news/2023/22402.html>



（共通ロゴマーク）

以 上

本件に関するお問合せは

山陽電気鉄道株式会社 鉄道事業本部 施設部 電気課

TEL 078-940-5201